



令和元年12月号

第30号

1

## FF西東京30周年記念祝賀会

FF西東京クラブは、1989年1月17日に設立、今年2019年は30周年にあたることから7月27日午後、ホテル町田ヴィラに於いて祝賀会を開催しました。当日は、現・元会員中心に41名が参加。会は、開会（今村さん、司会も）⇒高垣会長挨拶⇒来賓祝辞⇒乾杯（発声、虫明副会長）⇒歓談⇒ここ10年の受入・渡航のハイライトDVD上映（会員提供の多数の写真をもとに宇梶さん制作）⇒スピーチ（5人）⇒クイズ（企画：山本さん）⇒エルム弦楽合奏団のボランティア演奏の順で進行、和やかに、賑やかに楽しみました。最後に、FFの唄を全員で合唱、活動の継続的な発展を誓い、手拍子。クラブのバナースタンド（新規）と横断幕が会場を飾りました。



FFIから頂いた表彰状



### 会長挨拶

高垣 孝

本日は創立30周年の祝賀記念パーティーに、ご来賓として町田市副市長の木島暢夫様、及びFF日本名誉顧問の愛知和男様をお迎えして、旧会員、現会員、そのご家族、ご友人等の多数の方々にお集まりいただき、大変ありがとうございました。我がクラブは平成元年に佐原勇さんによって設立され、今年令和元年に30周年を迎えるという、時代の節目を刻んできました。この平成時代の30年間、西東京クラブは17カ国、30クラブを受入、渡航は18カ国、20クラブを訪問しました。つまり設立以来、受入、渡航合わせて世界の50クラブ、述べ約1,000人の方々とホームステイによる国際交流をしたことになります。これは個人の海外交流や海外旅行ではとても達成できない我々の貴重な財産です。20年前に創始者佐原勇さんは志半ばで、亡くなりましたが、故人の意思を受け継ぎ、発展させて来られた、歴代会長さんをはじめ、ここに出席された多くの皆様のご尽力により、現在は会員数が43名に増え、日本にある26クラブの中でも中堅クラスになりました。本日は過去30年の足跡を祝うだけでなく、これをベースに新たな飛躍を図る出発点としたいと思います。今や日本の社会問題でもある、会員の高齢化という難題が立ちちはだかりますが、どうか未来に羽ばたく西東京クラブとして、この難関を突破し、これからもホームステイ交流による民間外交を推進し、世界平和に多少とも貢献したいと考えています。引き続きご支援の程を皆様にお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



虫明さんが乾杯の発声



石田さん村上さんスピーチ



アンサンブル・エルムの演奏



## 祝辞 町田副市長

木島 暢夫

フレンドシップフォース西東京クラブが創立三十周年を迎え、本日、このような盛大な記念パーティが開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、日頃より町田市政に多大なるご協力を頂き、心より厚く御礼申し上げます。

貴クラブにおかれましては、これまでホームステイ等を中心 に国際友好親善の推進に多大なご尽力、ご努力をされてまいりました。グローバル化が進み世界がフラット化する中において、私達はより多くの国々と友好を育んでいくことが求められています。そして、今年はラグビーワールドカップ、来年は東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。こうしたことからも貴クラブをはじめと致します国際友好親善に取組む方々の活動がより一層重要となります。

結びとなりますが、フレンドシップフォース西東京クラブの益々のご発展と、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、私からのご挨拶とさせて頂きます。本日は誠におめでとうございます。



町田市副市長・木島暢夫さん



## 祝辞 FF日本名誉顧問

愛知 和男

今日は西東京クラブの設立30年、誠におめでとう存じます。私とFFとの出会いは、設立者のウェイン・スマスさんが日本にお見えになり食事をご一緒した時です。和式レストランなので、靴を脱がなくてはならない。靴を脱いだスマスさんの靴下に大きな穴が空いておりました。飾らない人柄がにじみ出ていて、すっかり親しくなりました。そして国際交流にかける思いを聞かせて頂き、私もささやかながらお手伝いをさせていただくことになりました。それからもう本当に何十年。お蔭さまで大変光栄なことにウェイン・スマス・メダルを頂き、政治活動以外では最もどっぷりとつかった活動でした。

この国際交流、ホームステイを中心とした民間レベルの運動の大切さは、今世界が誠に激動の先行きどうなるのかと心配でならない時だけに、重要性はますます大きくなるのではないかと思います。西東京クラブが30周年、心からお喜び申し上げると同時に、ここからまた大きく発展をされるように願っております。



FF日本名誉顧問・愛知和男さん  
(元国務大臣)



井上さん、高垣幸子さん、  
小川さん



山本（文）さん、白谷さん、  
北川さん、山本（敏）さん



村上さん、竹田さん、野村さん



## 初めての受け入れ

高垣 幸子

一番印象に残っていることといえば、やはり初めての受入です。1996年9月、イスラエルのラアナーナ・ハシェロンクラブの方々でした。我が家家のアンバサダーは、私共とほぼ同年代のご夫婦。丁度、滞在中に台風の直撃を受け、根元から倒れ、道路を塞いだ街路樹を何枚もカメラに収めました。とても敬虔なユダヤ教徒のようで、ラマダンの日には夕方から翌日の日没まで24時間飲まず食わず、部屋にこもりお祈りを唱えていました。その間私どもは音を立てないよう、こっそり食事をしたことも懐かしい思い出です。



ディックマン夫妻、町田市役所（旧）でマッチング 1996.9



## 受入の魅力

山本 敏雄

外国語のほとんどできない私がどうしてフレンドシップのメンバーでいるのか不思議でならない。これまで韓国、オーストラリア、ドイツ、フランス、アメリカ、ブラジル、ウクライナ、タイ、エストニア、スロバキア、ニューカレドニア、キプロスの人たちが我が家を訪れてきた。どんな顔をしているのかな、肉は食べるのかな、お酒は飲むのかな、趣味は何かな、どんな話をすればいいのかなと思いながらマッチングの場所に車を走らせる。そして1週間たち別れの日を迎える。すべての不安はとっくに去り楽しかった日々の思い出と世界平和を望む気持ちをかみしめている自分に気づく受入です。



米・WNCクラブ、William &amp; Karen 夫妻 2016.10.



## 仏・ビアリツクラブとの交流

石井健二

夫婦で20年強、FFに関わって来ました。2012年の受入に続き、リターン渡航した仏・ビアリツクラブとの交流は特に印象深いです。

受入時は、個性豊かでエレガントな中にやさしさを忘れず、東北大震災義捐金を寄託、1人がシーズンオフ海岸での泳ぎを所望、桜花爛漫の皇居周辺を案内中に迷子者のハプニング。渡航時は、近隣の山頂からの眺望、港町、旧市街バイヨンヌ、バスク村、山小屋でのバーベキュー、歓迎会での寸劇、バスク地方伝統ダンスなど。FFならではの旅行を楽しみました。



バスク山小屋で余興 2014.5



## エストニアの泉に

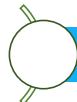
工藤 澄子

窓際の可愛い部屋、帰国間際まで、そこがホスト御夫妻の寝室とは思いませんでした。帰る朝、探していたお二人が、リビングのソファに。私に寝室をと思うと、ありがたく胸打たれました。3畳のキッチン、小さなテーブルの食事、肩が触れ合い、楽しい思い出。北欧のエストニアには多くの湖、泉が森の中にあります。何も飾らず、ありのままに接していただき、心に泉が湧き、美しい自然とお二人を思い出します。



公園で出会った民族衣装の一家

2012.7



## 心と心の交流

加藤 健治

我が家への受入は、11年前スロバキアのマーチン会長夫妻が初経験でした。ビエナ夫人が大変なヘビースモーカーで、数少ない喫煙OKの我が家が愛煙家の柳川会長の目に留まり、入会直後にいきなり会長夫妻受入の大役を受け、会話もままならず冷や汗ものでした。

印象深いのはケベックのジャンギー夫妻で持病治療の器具洗浄用蒸留水購入依頼に上手く対応できず大苦労。何のことはないコンビニにある一本百円の精製水のことで、次の訪問地で困らないよう数本持つて行ってもらいたい大変感謝されました。会話はプラーなれど、心と心による交流を実践しています。



腹を割って、ジャンギーさんと

2017.3



## FFの友は天国に

今村 佐知子

2度目の受入で我が家にステイしたのはノースカロライナからの70代の女性、看護大学教授のケイでした。日本の文化を尊重し、体調不良の息子を気遣い、何をしても感謝を忘れぬ向上心溢れる女性でした。そんな彼女が大きなショックを受けたのは数年前5人の子供を置いて夫が突然若い女性の元に行ってしまった事、余りのショックで1年間立ち直れなかったそうです。絶望から救ったのは孫の卓球への誘い、そして俳句作りだったそうです。ケイはその後ドミニカで予防医学のボランティアとして活躍、お互い文通もしましたが、ケイを愛する親族、友人が頻繁にフェイスブックにケイをアップしてくれ動向を知ることが出来ました。89歳で生涯を終えた時、悲しみの声が尽きなかったのは言うまでもありません。FFの精神を実行した忘れがたい友です。



ケイさんと 2005.4



## 子供の様に楽しかった思い出

竹田 敏子

私の大好きな渡航は2008年、イギリスのクリーブランドクラブです。西東京クラブ9名、山口クラブ6名計15名の合同渡航でした。

ある日の日程はStockton on Tees 市庁舎の歴史的建造物を訪問、昔の衣装を着用し、大きな市の鍵をつけた鎖と大きなネックレスを首から掛けた堂々たる市長さんとお会いすることでした。市長さんから立派な市議会室の説明を受け、市の歓迎会の昼食に接待され、私達は夢中で市長さんと写真撮りました。クリーブランドクラブのこのプログラムは私に古いイギリスにタイムスリップさせてくれ、子供の様に楽しくて感動しました。



市庁舎訪問歓迎 2008.6



## 入会2年目のHC経験

虫明 陽子

私にとってタリンクラブ（エストニア）との交流は、やはり特別な思いがあります。

入会してたった2年目で私をHCに任命なさった櫻川会長（殿、ご乱心!?）。ですがベテランの皆様の120%の援助で受入を終了することができました。アンバサダー達はどう感じたのか不安でしたが、彼らも未経験の私を温かく応援・協力して下さった、と有難い感動でいっぱいでした。

有名な、5年ごとに開催されるエストニア最大の「歌と踊りの祭典」。彼らは1988年開催時に、当時禁止されていた民族音楽・国家をエストニア語で合唱。これが「流血無しの独立」という革命を導き1991年旧ソ連より独立しました。

こんな歴史を生きたアンバサダー達は、穏やかで辛抱強く、優しい笑顔と温かなハグをして下さいました。



銀座散策 2010.10



## 独・ハノーファー・クラブとの親交

山崎 恵美子

ACのガーハード家は閑静な緑いっぱいの立派な住宅街にあり、家の周りを散歩、優雅なひと時でした。各家のポストが個性に溢れ、その上にリンゴや桃などが置いてありました。『どうぞ自由にお持ち帰りください』という意味だそうで、和やかを感じました。

しかし、川を隔てた向こう側に国外から逃れた人々の難民施設があるそうです。電車の中で切符を持たずに乗った人が車掌さんに尋問され降ろされました。色々な国の日常を身近に感じられるのもFFのメンバーであるから、と感謝。住む世界や環境は違っても、人の本質は同じと感慨深いです。



ガーハード家の郵便ポスト 2018.8

年・月	国・クラブ名	人数	HC(ED)	会長
'02.7	キプロス、キプロス	26	高垣 孝	佐原泰子
'03.5	米国GA、アトランタ	8	石井健二	佐原泰子
'04.8	タイ、チェンマイ	9	佐原泰子	佐原泰子
'05.4	米国NC、ラーレイ	21	山本 文	棚川善一
'05.6	ニューカレドニア、ヌメア	14	石井嗣代	棚川善一
'06.10	米国CA、シアトル・タコマ	15	今村佐知子	棚川善一
'07.9-10	豪、マレーブリッジ	19	石井嗣代	棚川善一
'08.10	スロバキア、ブラチスラバ	20	高垣 孝	棚川善一
'10.10	エストニア、タリン	15	虫明陽子	棚川善一
'11.9-10	米国、東ワシントン・北アイダホ	19	竹田敏子	棚川善一
'12.3	フランス、ビアリツ	17	石井健二	棚川善一
'13.3	ロシア、サラトフ	11	山本文 佐原泰子 <sup>1)</sup>	石井健二
'14.10	米国OH、東北オハイオ	15	棚川善一	石井健二
'15.4	ブラジル、サンジョゼリオプレト	17	虫明陽子	石井健二
'16.6	ドイツ、ハノーファー	19	山崎恵美子	石井健二
'16.10	米国NC、西ノースカロライナ (STO)	10	石井健二	石井健二
'17.3-4	カナダ、ケベック	19	高垣 孝	高垣 孝
'17.10	米国CA、サクラメント(STO)	16 <sup>2)</sup>	今村佐知子	高垣 孝
'18.4	トルコ、チャンカヤ	15	山本 文	高垣 孝
'19.11	米国FL、グレーターオーランド	20	戸ヶ崎正次	高垣 孝

1) 当初ED山本文、途中から佐原泰子に変更 2) 武藏野目黒クラブ2名との合同受入

年・月	国・クラブ名	人数	AC (ED)	会長
'02.7	豪、マレーブリッジ	17 <sup>1)</sup>	鷲川善一	佐原泰子
'03.10	韓国、南ソウル	9	石田 充	佐原泰子
'04.5	キプロス、キプロス	6 <sup>2)</sup>	高垣 孝	佐原泰子
'05.10	NZ、カピティコースト	12	鷲川善一	鷲川善一
'06.3	台湾、台中	8	石田 充	鷲川善一
'07.3	米国NC、ラーレイ	10 <sup>3)</sup>	山本 文	鷲川善一
'08.4	英国、クリーブランド	9 <sup>4)</sup>	佐原泰子	鷲川善一
'09.6	米国WS、シアトル・タコマ (STO) <sup>5)</sup>	4	今村佐知子	鷲川善一
'10.5	スロバキア、布拉チスラバ	8 <sup>6)</sup>	高垣 孝	鷲川善一
'11.4	ニューカレドニア、ヌーメア	6 <sup>7)</sup>	石井嗣代	鷲川善一
'12.7	エストニア、タリン	19 <sup>8)</sup>	虫明陽子	鷲川善一
'13.10-11	NZ、ネルソン	15 <sup>9)</sup>	山崎恵美子	石井健二
'14.5	フランス、ビアリッツ	16 <sup>10)</sup>	石井健二	石井健二
'15.7	カナダ、ケベック	15 <sup>11)</sup>	高垣 孝	石井健二
'15.7	米国OH、北東オハイオ(STO)	10	高垣 孝	石井健二
'16.10	タイ、バンコク	14 <sup>12)</sup>	八塚住子	石井健二
'17.1	豪、メルボルン	7 <sup>13)</sup>	佐原泰子	高垣孝
'17.11	米国FL、グレーターオーランド	17	鳥居典子	高垣孝
'18.9	ドイツ、ハノーファー	19	山崎恵美子	高垣孝
'19.5	豪、パース	14 <sup>14)</sup>	菅沼益子	高垣孝

1) 内、東京クラブ5名 2) 山形クラブ8名との合同渡航

3) 内、東京クラブ1名 4) 山口クラブ6名との合同渡航

5) アジアパシフィックフェスティバル(米国、セーラム) 参加後

6) 山口クラブ10名との合同渡航 7) 宮城クラブ2名との合同渡航

8) 内、郡山クラブ3名、大阪クラブ1名 8) 内、富士山・山梨クラブ1名

10) 内、新潟クラブ1名 10) 内、富士山・山梨クラブ2名

12) 内、郡山クラブ3名、宮城クラブ1名 13) 富士山・山梨クラブ4名との合同渡航

14) 内、新潟クラブ4名

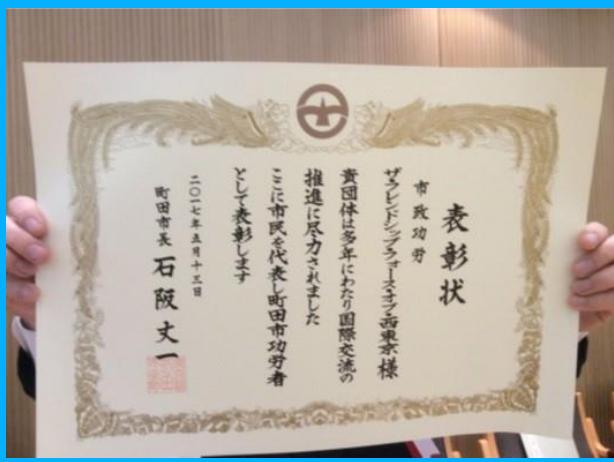
■ガーナ国大統領になったMr.Mahama  
元会長の佐原泰子会員、20数年前、外務省の在外公館職員研修で来日中のMr.John Mahamaを同省要請で受け入れしました。同氏はその後政治家を志し、政府高官を経て、大統領に就任。偶々、インターネットでそのことを知りお祝いメッセージを送ったところ、佐原家のホームステイを好印象でご記憶、ガーナ招待のお返事を頂きました。2014年5月、フランス・ビアリッツクラブ渡航の帰途、FFメンバーと訪問。VIP待遇で迎えて頂くなど交流が再開。FFが蒔いた種が大輪の華と咲きました（本件、第19号及び第23号にコラム記事があります）。

### ■FF日本大会主催

クラブ設立から年を重ねても、会員確保に苦労するなか、日本大会主催を要請され、1年余りの準備を経て、2009年2月28日、第22回大会を、西東京全員の参加と近隣クラブの協力も得て乗り切りました（於国立オリンピック青少年総合センター・都内代々木公園）。1日のみでしたが、参加者はこれまでの最多に近い195人で、これを契機に毎年1回の渡航と受入が定着しました。

### ■町田市表彰

町田市は、市政の振興等の分野で長年活躍している個人や団体を表彰する制度があります。市は、FF西東京クラブの長年の国際交流に対する貢献に対し、2017年5月功労表彰しました。国際交流での表彰は初めてのことです。名誉なことで、今後も頑張りましょう。



### 編集後記

本号、クラブ設立30周年特集その2として、7月末に開催した祝賀会、印象に残る交流の思い出話に加え、前号掲載以降の交流実績表を掲載しました。快く投稿下さった皆様に感謝すると共に、今後の交流にも役立つことを祈ります。交流実績をまとめて、当クラブの渡航は他クラブさんとの合同渡航や他クラブ会員さんの参画が多いことを確認しました。限られた会員数、お仕事、家族の介護、会話などなど様々なハードルがある国際交流ですが、生活を共にして実感する感動や喜びも多いです。FF活動の輪が社会に定着し、次世代に引き継がれ、そして世界の平和にいささかなりとも貢献することを祈ります。

（石井健二）

転職する、娘が生まれる、健康診断でひっかかるなどと私生活が何かとあわただしい、例によってデザイン担当の中川です。本会報はFF西東京の歩みです。皆様さまざまな交流の思い出や苦労話もあるとは思いますが、楽しく交流しているようで何よりです。私は年相応に？私生活がバタバタしております、あまり顔を出せていないのですが、隙を見つけて参加したいと思います。新しい職場では英語を話す機会がありませんので、現在違和感を感じております。英語分の補給も兼ねて交流に積極的に参加したいなあと感じております。令和になり変わるべきこと、変わらないものが多くあるとは思いますが、変わらないフレンドシップフォースの精神と多くの人とかかわることで自分が変われるような年にしたいと思います。

（中川貴文）

発行日：令和元年12月 第30号  
発行者：ザ・フレンドシップフォース・西東京

町田市つくし野4-29-17  
Tel/Fax 042-796-6797

ホームページ  
担当：西村千織、石井健二  
<http://ffw-tokyo.org/wp>